



東地中海地域ニュース

イスラエル・パレスチナ：PA治安部隊によるトゥルカレムでの大規模作戦 (12月5日付「エルサレム・ポスト」紙)

1. 4日、トゥルカレムにおいて、PA治安部隊は、西岸における無法状態を終結させるための大規模治安作戦を行った。
2. PA国家治安警察トゥルカレム地区シュクリ・アブデル・ハミド指揮官の発言。

同作戦は、パレスチナがこれ以上無政府状態を許容しないというメッセージを伝えることを目的としている。

治安部隊は、地域に法と秩序を課し、違法な武器を回収する。約250名の警察官と治安機関関係者が同作戦に関係しており、別途指示があるまで作戦を継続する。

同治安作戦の主な目的は、様々な犯罪に関わったとされる210名のパレスチナ人容疑者を逮捕することである。部隊には、作戦遂行中に暴力を避け、差し迫った生命の危険がない限り発砲を慎むように厳格な指示が出されている。
3. PA治安機関の高官は、ファタハ系の武装集団は標的となっていないことを認めつつ、「我々は、彼らが公の場に武器を持って現れることはもはや許されないと警告している。PA機関のメンバーのみが武器の携行を認められる。彼らにそのメッセージが伝わったと思っている」と述べた。
4. 人権擁護活動家によれば、11月中にパレスチナ自治区で起こった内部紛争において、少なくとも17名のパレスチナ人が死亡、167名が負傷した。死亡の半分以上は、部族間の衝突が原因であり、残りはハマス系治安部隊もしくはファタハ系の警察によるもの。また、西岸及びガザ地区において、7名のパレスチナ人報道関係者がハマス系もしくはファタハ系の治安部隊により、逮捕されるか暴行を受けた。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799